

北海道地方メディア連携協議会

「新たな防災気象情報について」

～ 令和8年5月29日から運用開始 ～

＜札幌での気象観測＞

明治9年（1876年）9月1日石狩国札幌区東創成通り（現在の札幌市中央区南2条東1丁目）で気象観測を開始以来、本年（令和8年）で150年を迎えます。



明治23年頃の気象台



令和8年7月28日(火)
札幌管区気象台気象防災部
気象防災情報調整官 森田 克也

【本日のお話】

- 防災気象情報の改善
- 段階的に発表される防災気象情報

【本日のお話】

- 防災気象情報の改善
- 段階的に発表される防災気象情報

これまでの主な防災気象情報と警戒レベルとの関係

- **警戒レベル**は、住民が災害時にとるべき避難行動が直感的にわかるよう、**避難情報等を5段階に整理**（例：警戒レベル4＝避難指示、警戒レベル3＝高齢者等避難）
- **防災気象情報**は、**避難情報の発令や住民の自主避難の参考となる「警戒レベル相当情報」**という位置づけですが、警戒レベルとの関係が分かりづらいという課題

警戒レベル				これまでの防災気象情報（警戒レベル相当情報）				
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報（避難情報等）	警戒レベル相当情報	防災気象情報			
					洪水等に関する情報			
					指定河川洪水予報（河川毎）	洪水害（市町村毎）	大雨浸水害（市町村毎）	土砂災害 高潮害
5	災害発生又は切迫	命の危険直ちに安全確保！	緊急安全確保	5相当	氾濫発生情報	大雨特別警報（浸水害）	大雨特別警報（土砂災害）	高潮氾濫発生情報
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示	4相当	氾濫危険情報			土砂災害警戒情報 高潮特別警報 高潮警報
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難※	高齢者等避難	3相当	氾濫警戒情報	洪水警報	大雨警報（土砂災害）	警報に切り替える可能性が高い 高潮注意報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認する	洪水、大雨、高潮注意報	2相当	氾濫注意情報	洪水注意報	大雨注意報	高潮注意報
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	1相当				

＜警戒レベル4までに必ず避難！＞

市町村は、警戒レベル相当情報などを参考に、総合的に避難指示等の発令を判断する

防災気象情報と警戒レベルとの関係が分かりづらいという課題があり、「防災気象情報に関する検討会」において2年半かけて検討。その最終とりまとめ（令和6年6月）に沿って防災気象情報を改善。

新たな防災気象情報

- 防災気象情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）を5段階の警戒レベルにあわせて発表
- 対象災害ごとの情報として整理するとともに、**レベル4相当の情報として危険警報を新設**
- **情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表**（例：レベル4大雨危険警報 等）

新たな防災気象情報の情報体系とその名称

	河川氾濫 1級河川などの 大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や 大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや 土石流	高潮 海水面の上昇や 波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの) 住民が とるべき行動
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
----- <警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！> -----					
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを高める

【参考】5段階の警戒レベルと防災気象情報

5段階の警戒レベルと防災気象情報

気象状況	気象庁等の情報		市町村の対応	住民がとるべき行動	警戒レベル
災害の切迫・発生	キキクル 災害切迫	河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮 レベル5 特別警報 (警戒レベル5相当情報)	緊急安全確保 ※必ず発令される 情報ではない	命の危険 直ちに安全確保！ ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況。いまいる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	5
2時間～0時間程度前	危険	レベル4 危険警報 (警戒レベル4相当情報)	避難指示 第4次防災体制 (災害対策本部設置)	危険な場所から全員避難 ・台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了しておく。	4
数時間～3時間程度前	警戒	レベル3 警報 (警戒レベル3相当情報)	高齢者等避難 第3次防災体制 (避難指示の発令を判断できる体制)	危険な場所から高齢者等は避難 ・高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	3
半日～数時間前	注意	レベル2 注意報 (警戒レベル2)	第2次防災体制 (高齢者等避難の発令を判断できる体制) 第1次防災体制 (連絡要員を配置)	自らの避難行動を確認 ・ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	2
数日～約1日前		早期注意情報 (警戒レベル1)	・心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認	災害への心構えを高める	1

市町村は、防災気象情報などを参考に避難情報を発令

「避難情報に関するガイドライン」（内閣府）に基づき気象庁において作成



避難するタイミングは
「レベル3」 と **「レベル4」**

警戒レベル相当情報以外の特別警報等

- 警戒レベル相当情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）以外の特別警報・警報・注意報は、これまでと変わりません
- これら情報について、気象庁ホームページ等では、特別警報は黒、警報は赤を用いるが、警戒レベルには相当しないことに留意してください

警戒レベル相当情報以外の特別警報・警報・注意報

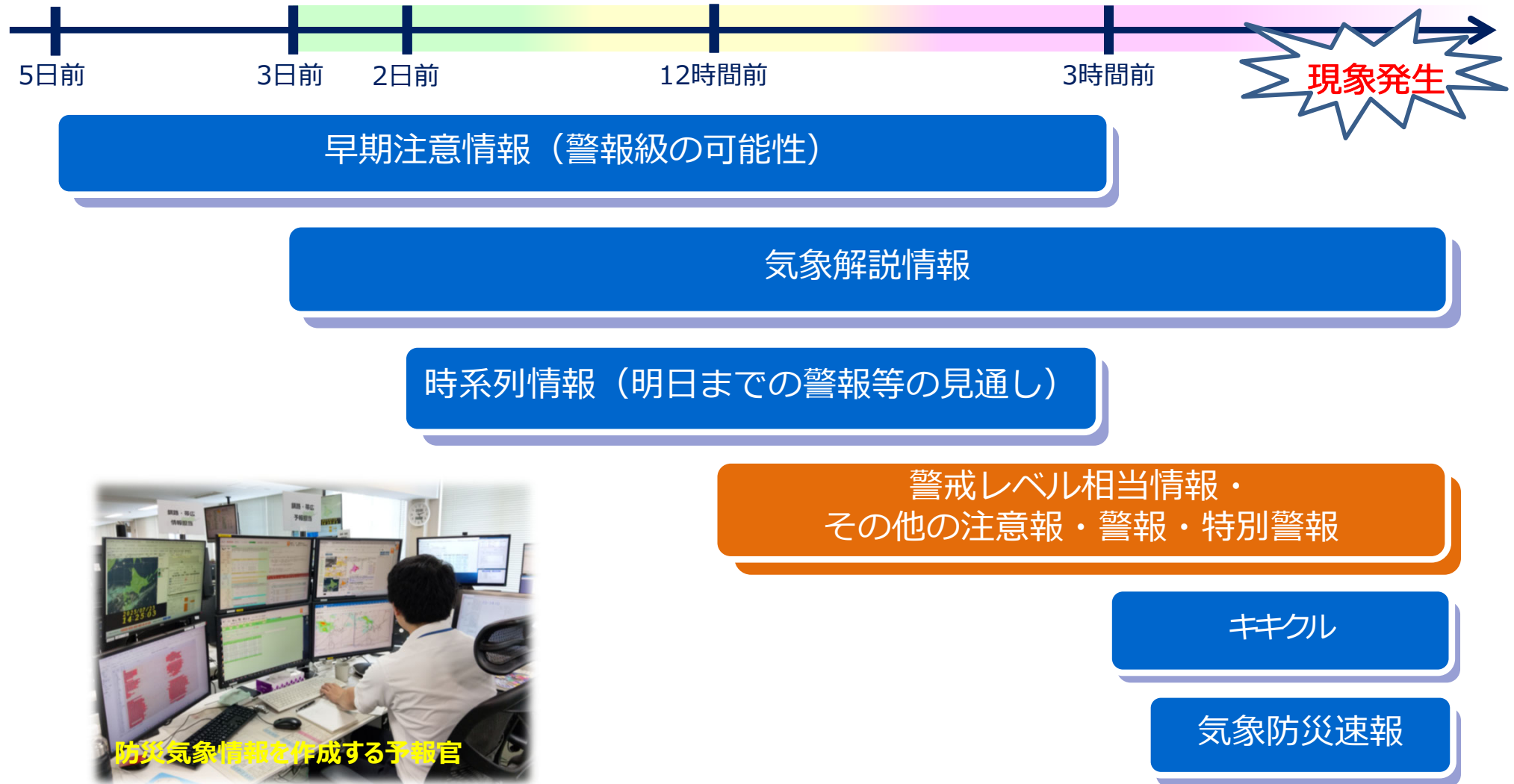
特別警報	暴風、波浪、大雪、暴風雪
警報	暴風、波浪、大雪、暴風雪
注意報	強風、波浪、大雪、風雪、濃霧、雷、乾燥、なだれ、着氷、着雪、霜、低温、融雪

※これらの特別警報や警報は、レベル5（緊急安全確保）やレベル3（高齢者等避難）には相当しないことに留意してください

【本日のお話】

- 防災気象情報の改善
- 段階的に発表される防災気象情報

段階的に発表される防災気象情報



- 警戒レベル相当情報とあわせて、**段階的に発表される様々な防災気象情報を防災対応の判断に活用**することが重要です。
 - 早期注意情報や時系列情報等は、心構えを高め、事前の体制確保の検討に活用。
 - キキクルや気象防災速報は、避難の判断や後押しに活用してください。

早期注意情報



【早期注意情報（警報級の可能性）】、5日先までの警報級の現象の可能性を発表

北海道石狩地方	3日		4日				5日		6日	7日	8日
警報級の可能性	12-18	18-24	00-06	06-12	12-18	18-24	00-12	12-24			
大雨	-	-	[中]	[高]	[中]	-	-	-	[中]	[中]	-
土砂災害	-	-	-	-	-	-	-	-			
大雪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
暴風(雪)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
波浪	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高潮	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

6時間毎
 12時間毎
 日単位

- 3日先から5日先まで
 - [高] や [中] が発表されたときは、心構えを早めに高めて、これから発表される「気象解説情報」の内容に十分留意してください。
- 明後日まで
 - [中] が発表されたときは、命に危険が及ぶような警報級の現象となり得ることを表しています。ただちに避難等の対応をとる必要はありませんが、深夜などに天気が急変して突然警報が発表されても、あわてずに対応できるよう、あらかじめ心構えを高めていただくことを考えています。
 - [高] が発表されたときは、危険度が高まりつつあり、「警報」などがすでに発表されているか、発表される可能性が高まっていることを表しています。命に危険が及ぶような警報級の現象が予想される詳細な時間帯は「時系列情報」や「警報」、「気象台コメント」等で確認するようにしてください。

早期注意情報をうまく活用して災害への心構えを！

気象解説情報



【気象解説情報】

「網羅的に解説する情報(＝気象解説情報)」は、“現在の気象状況と今後の見込みを伝え、災害への備えや今後の防災対応の検討・判断を後押しする情報”であり、“現在及び今後の気象状況や災害発生の危険度の見通しを網羅的に伝える情報”として発表します。

下に、長崎地方気象台が、6月23日に発表した、気象解説情報を示します。

札幌管区気象台が発表する場合、北海道地方または石狩・空知・後志地方となります

何に着目した情報なのかがわかるよう、括弧内にキーワードを付加

長崎県気象解説情報(大雨・落雷・突風) 第1号

2026年06月23日05時00分 長崎地方気象台発表

長崎県では、23日夜のはじめ頃から25日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に注意・警戒してください。また、23日昼前から25日にかけて落雷や竜巻などの激しい突風に注意してください。

【気象概況】
東シナ海の梅雨前線や24日朝までに対馬海峡付近に発生する低気圧に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が非常に不安定となる見込みです。

このため長崎県では、23日夕方から25日にかけて、局地的に雷を伴った非常に激しい雨や激しい雨が降り、梅雨前線の活動が予想より活発となった場合、警報級の大雨となるおそれがあります。また、23日昼前から25日にかけて局地的に積乱雲が発達し、落雷や竜巻などの激しい突風のおそれがあります。

～ 以下省略 ～

時系列情報（明日までの警報等の見通し）



【時系列情報】
時系列情報は、警報・注意報に先立って気象の見通しを二次細分区単位(+山地等の分割地域)で提供する予測情報です。5時、11時、17時、23時に発表します。
警報・注意報の発表の有無に関わらず、明日までの気象の見通しを提供（時系列情報を後追いつける形で警報・注意報が発表されるイメージ）。
下に、長崎地方気象台が、6月25日に発表した、長崎市の時系列情報を示します。

要素： 警戒レベル：

【！】警報が発表されています。最新の警報の発表状況やキキクルなどをあわせて確認し、必要な行動をとってください。

長崎市の時系列情報（明日までの警報等の見通し）																
2026年06月25日11時00分発表																
長崎市		地域	25日				26日								27日	備考・関連する現象
			12-15	15-18	18-21	21-24	00-03	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24		
1 時間最大雨量 (mm)			30	30	15	15	50	50	30	20	20	20	5	5		
2 4 時間最大雨量 (mm)			200													
							150									
大雨																
土砂災害																
高潮	潮位 (m)	橘湾側	0.4	0.9	0.9	0.3	0.7	1.0	0.9	-0.1	0.1	1.0	1.0	0.6		
		五島灘側	0.4	0.8	0.8	0.4	0.7	0.9	0.8	-0.1	0.1	0.9	1.0	0.6		
		大村湾側	0.1	0.2	0.4	0.4	0.3	0.5	0.6	0.6	0.2	0.1	0.4	0.4		

警戒レベル相当情報・その他の注意報・警報・特別警報



【特別警報・危険警報・警報・注意報】

特別警報とは、予想される現象が特に異常であるため重大な災害の起こるおそれが著しく大きい旨を警告して行う予報。

危険警報とは、重大な災害が起こるおそれが大きい危険な状況である旨を警告して行う予報。

警報とは、重大な災害が起こるおそれのあるときに警戒を呼びかけて行う予報。

注意報とは、災害が起こるおそれのあるときに注意を呼びかけて行う予報。

下に、長崎地方気象台が、6月25日に発表した、長崎市の危険警報・警報・注意報を示します。

警戒レベル4相当情報発表中

長崎市の警戒レベル相当情報（発表状況）			
2026年06月25日11時01分更新			
長崎市	大雨	土砂災害	高潮
レベル5相当			
レベル4相当		レベル4土砂災害危険警報	
レベル3相当			
レベル2	レベル2大雨注意報		

長崎市の警報・注意報（発表状況）	
2026年06月25日10時52分更新	
長崎市	警報・注意報
特別警報	
警報	
注意報	強風注意報 雷注意報

▼ 警報・注意報の説明を表示する



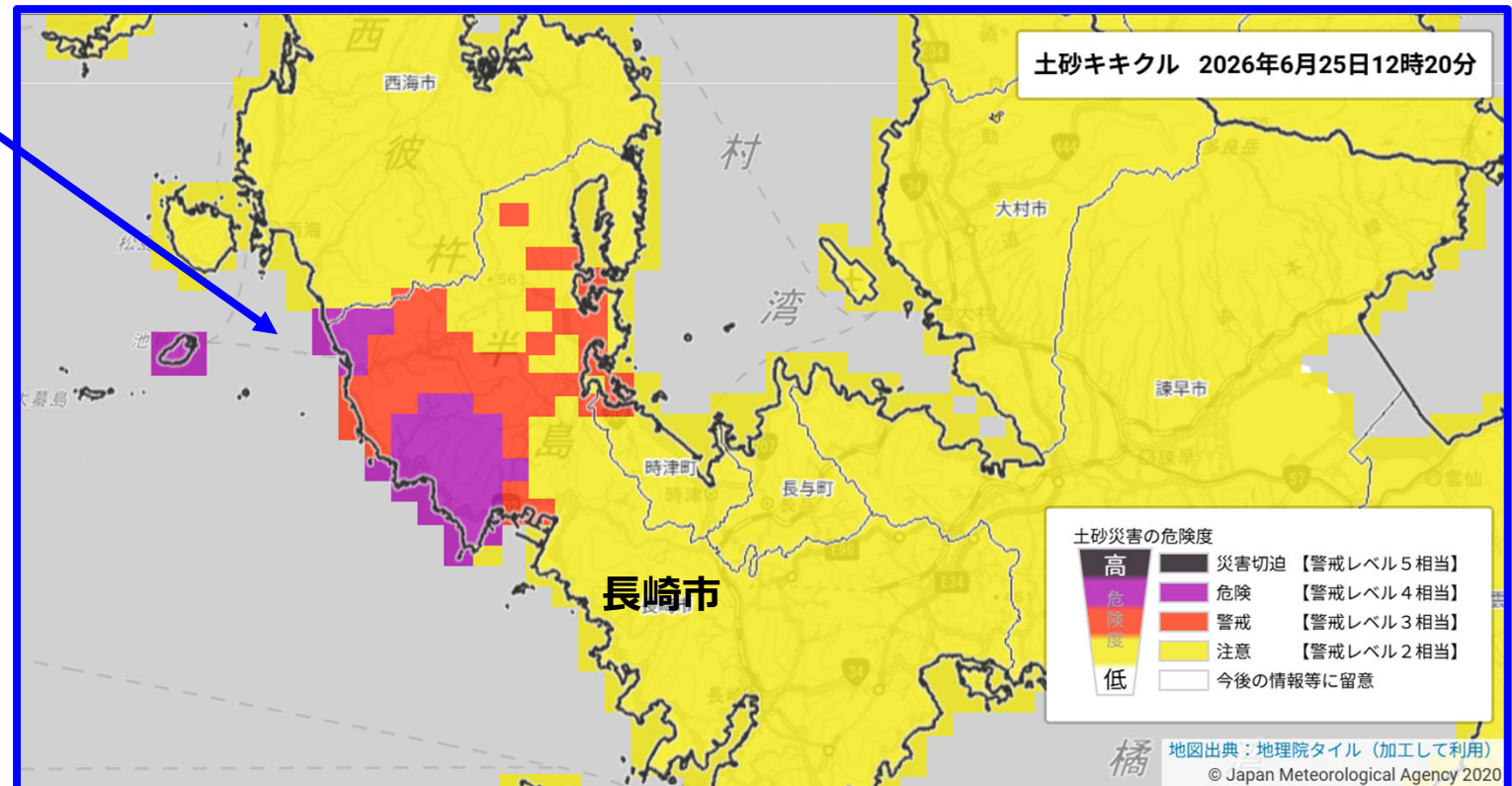
【キキクル】

大雨や土砂災害に関する情報が発表された際、**危険度が高まっている地域を確認**するにはキキクルを活用してください。

下に、6月25日12時20分の土砂キキクルを示します。

危険（紫色、警戒レベル4相当）や警戒（赤色、警戒レベル3相当）の判定が広がっている。
市町村が発令する避難の
情報に留意するとともに、自
主避難の判断にも活用。

災害切迫（黒色、警戒レ
ベル5相当）は、すでに災
害が発生・切迫している状
況です。



気象防災速報



【気象防災速報】

気象防災速報は、発生している極端現象に係る実況を伝えることを基本としています。
 警報の対象にはなっていないが、予測が困難で発生した場合には相当の被害をもたらす現象(竜巻)について、気象防災速報として発表します。
 下に、鹿児島地方気象台が、6月24日に発表した、気象防災速報を示します。

札幌管区気象台が発表する場合、北海道地方または石狩・空知・後志地方となります

何に着目した情報なのかがわかるよう、括弧内にキーワードを付加

鹿児島県（奄美地方除く）気象防災速報（線状降水帯直前予測） 第1号
2026年06月24日08時19分 気象庁発表
鹿児島県薩摩地方では、今後3時間以内に線状降水帯が発生し、非常に激しい雨が同じ場所で降り続く可能性が高まっています。命に危険が及ぶ災害発生の危険度が急激に高まるおそれがあります。

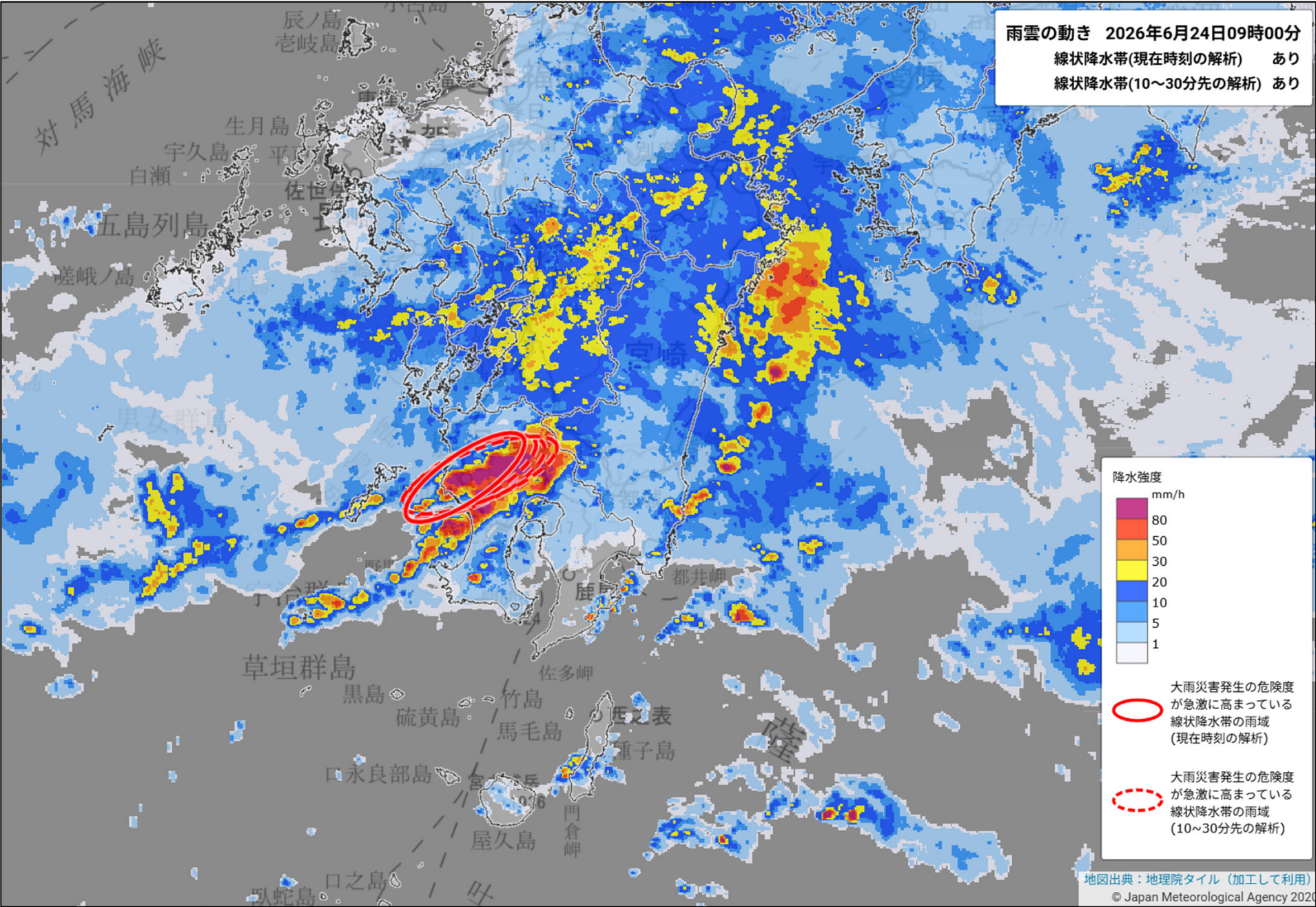
鹿児島県（奄美地方除く）気象防災速報（線状降水帯発生） 第1号
2026年06月24日08時48分 気象庁発表
鹿児島県薩摩地方では、線状降水帯による非常に激しい雨が同じ場所で降り続いています。命に危険が及ぶ災害発生の危険度が急激に高まっています。

以上です。
ご清聴ありがとうございました。



避難するタイミングは
「レベル3」と「レベル4」

【参考】線状降水帯（P15で紹介した6月24日の事例）



【参考】線状降水帯の情報改善

観測の強化、予測の強化により、線状降水帯に関する情報（文章・図）の段階的な改善を実施

- ・ **令和8年から、2～3時間前**を目標にした予測情報（文章・図）を提供
- ・ **令和11年から、半日程度前**に線状降水帯による大雨の可能性が高い**市町村**を把握できる
格子形式の分布図を提供予定

情報のリードタイムを伸ばし、対象地域を絞り込むことで、国民ひとりひとりに危機感を伝え、防災対応につなげていく。

文章
情報

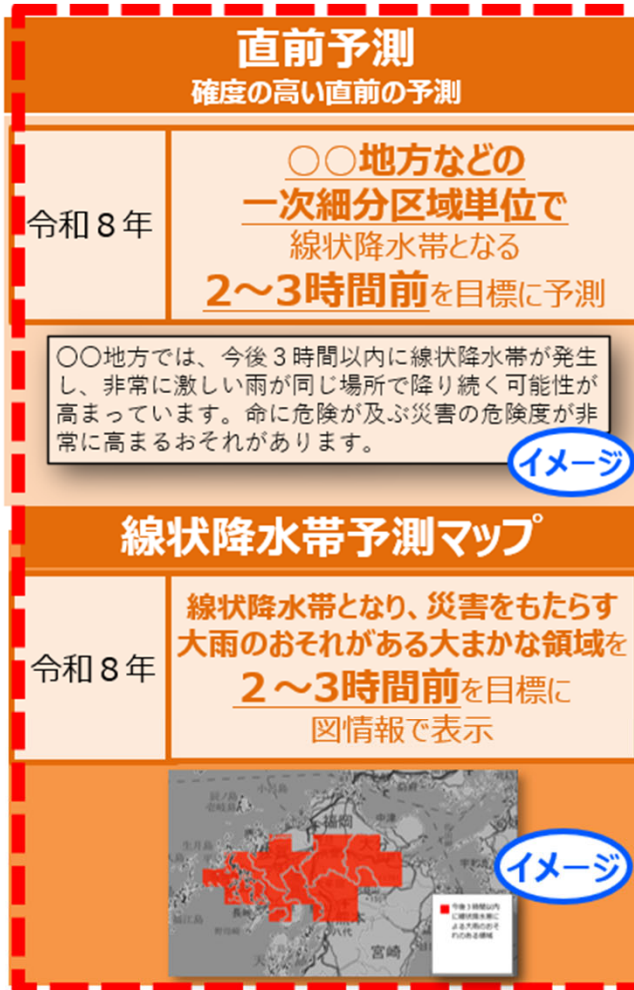
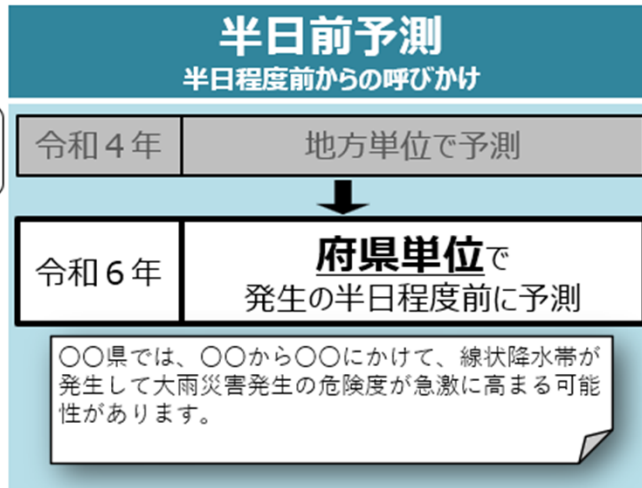
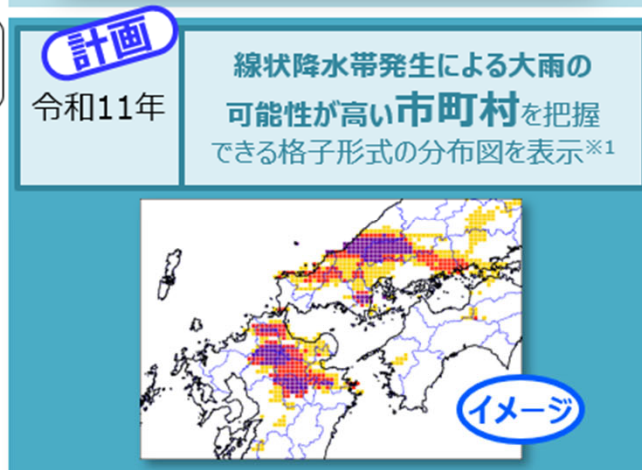


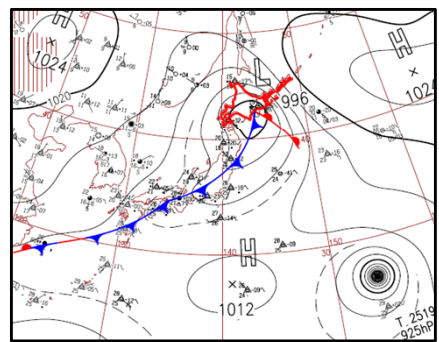
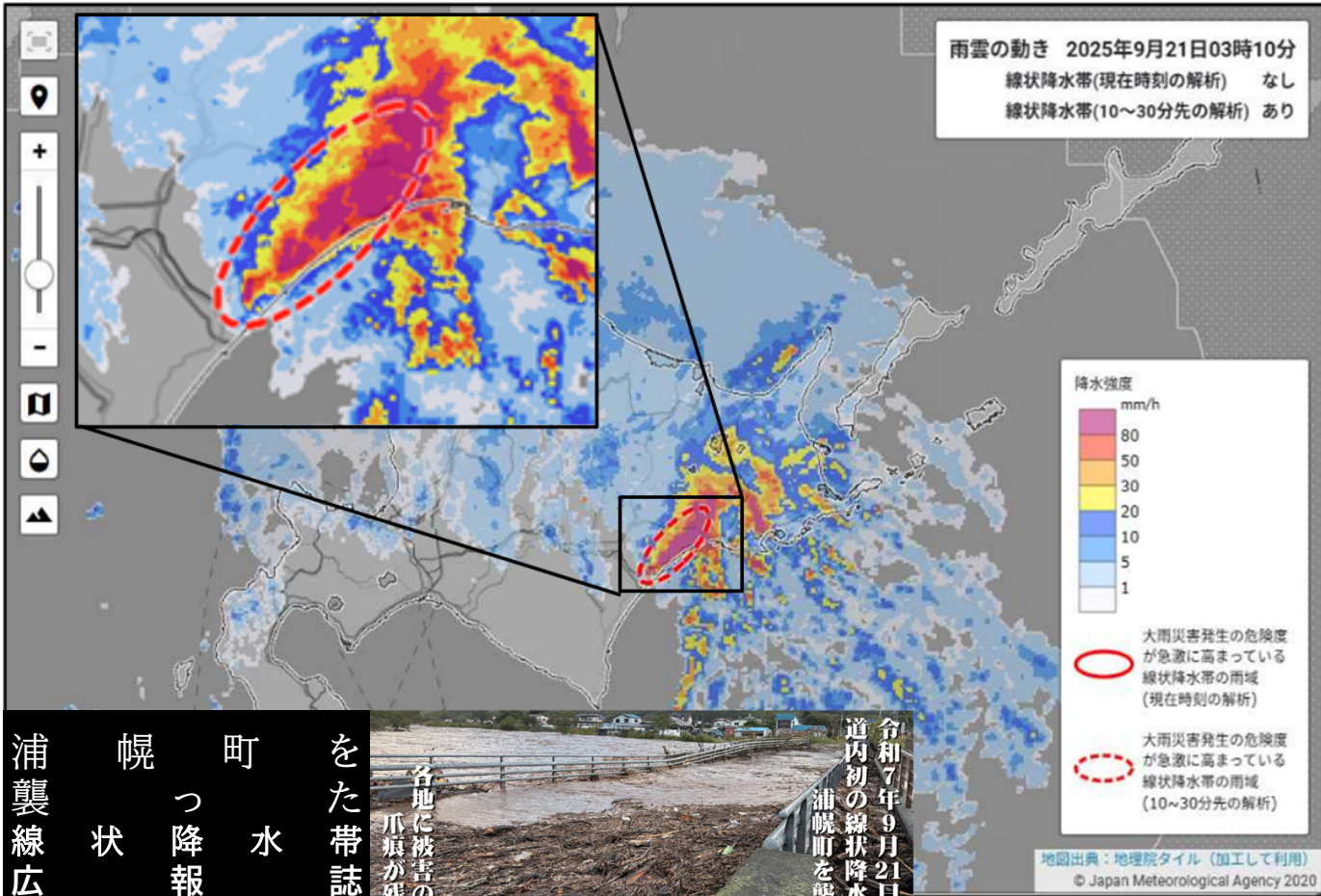
図
情報



※ 従前の計画通り令和11年に提供開始予定。
令和12年度運用開始予定の次期静止気象衛星により
更なる予測精度向上を目指す。

【参考】令和7年9月21日の大雨（北海道初の線状降水帯発生）

- ・釧路地方、十勝地方で線状降水帯が発生、北海道で始めて「顕著な大雨に関する気象情報」を発表
- ・最大1時間降水量は胆振東部の厚真で88.5ミリ、釧路南西部の二俣で75.5ミリを記録する等、複数の地点で観測史上1位の値を更新
- ・千歳市・安平町・むかわ町・大樹町・浦幌町・釧路市・白糠町では、避難指示を発令
- ・大雨や暴風、突風により、住家・非住家の床上・床下浸水や一部損壊が発生し、国道や道道、高規格道路の通行止め、JRの運休、1時間以上の停電等の影響



地上天気図 9月21日3時

総降水量(ミリ)
9月20日から21日の2日間

